

「学校を基盤とするカリキュラム開発」の授業公開と意見交換会の開催



ソウル教育大学教職大学院の授業の様子

<日時・場所>

2019年1月23日(水) 19:40~21:10

天王寺キャンパス西館3階第2講義室

<趣旨>

本学教職大学院では、FD活動の一環として、ソウル教育大学のスタッフをゲストとしてお迎えし、授業研究会を催すことになりました。本学と交流提携を結んでいるソウル教育大学には、入学定員が500名を超える教職大学院が組織化されています。そのスタッフと教職大学院における授業のあり方を考えるために、以下の授業を公開し、意見交換会を催します。全学公開といたしますので、ふるってご参加ください。なお、今回の企画は、初等教育講座の協賛を受けています。

<公開授業>

科目：教職大学院共通科目（選択）「学校を基盤とするカリキュラム開発」第14回

担当者：木原俊行・福永光伸

当日の授業の内容：所属校等における新しい教科・領域の具体化（単元計画）

* 講義の概要を以下に記しています。

<ゲスト等>

パク教授，オ教授（ソウル教育大学教職大学院）

裴教授（本学初等教育講座）

平成30年度「学校を基盤とするカリキュラム開発」概要等

水曜日7時限目（19：40～）

担当：木原俊行・福永光伸

概要

本講義では、学校を基盤とするカリキュラム開発について、理論的・実践的に検討する。まず、カリキュラム開発一般、そして学校を基盤とするカリキュラム開発に関する理論、その新動向をいくつかの文献を講読しながら確認する。

次いで、我が国の研究開発学校における新教科等の創設を事例として、学校を基盤とするカリキュラム開発の優れたモデルにふれ、その特徴と課題を把握する。そして、最後に、ある学校を対象として、新教科・領域の創設を構想することを通じて、学校を基盤とするカリキュラム開発に影響を与える要因についても多面的に考察する。

日程

10月3日（第1回）：講義内容・方法に関するオリエンテーション

10月10日（第2回）：「カリキュラム」概念の再検討（オープン教育の可能性と課題）

10月17日（第3回）：「カリキュラム開発」及び「学校を基盤とするカリキュラム開発」概念の整理

10月24日（第4回）：「カリキュラム・マネジメント」概念等の会得

10月31日 金曜日の授業

11月7日（第5回）：「カリキュラム・リーダーシップ」概念等の会得

以上の回では、講義終了後、テキストの該当部分を事前に読んでおくこと。また、各回で配布したワークシートの問いに関して、次回までに指示に従って取り組んでくること。

11月14日（第6回）：研究開発学校制度の概要把握

11月21日（第7回）：研究開発学校制度の歴史的検討

11月28日（第8回）：研究開発学校事例の分析1（小学校）

12月5日（第9回）：研究開発学校事例の分析2（中学校）

12月12日（第10回）：研究開発学校事例の分析3（高等学校）

以上の回では、講義終了後、各回で配布したワークシートの問いに関して、次回までに指示に従って取り組んでくること。

12月19日（第11回）：所属校等における新しい教科・領域の可能性の検討

1月9日（第12回）：所属校等における新しい教科・領域の具体化（目標・内容等）

1月16日（第13回）：所属校等における新しい教科・領域の具体化（年間指導計画）

1月23日（第14回）：所属校等における新しい教科・領域の具体化（単元計画）

以上の回の前には、各回で配布したワークシートの様式に従って、所属校等における新教科・領域の構想を進めてくること。

1月30日（第15回）：所属校等における新しい教科・領域の発表と相互批評

事前に、所属校等における新教科・領域の構想をレポートにまとめるとともに、その特長等をポスターに表しておくこと。